

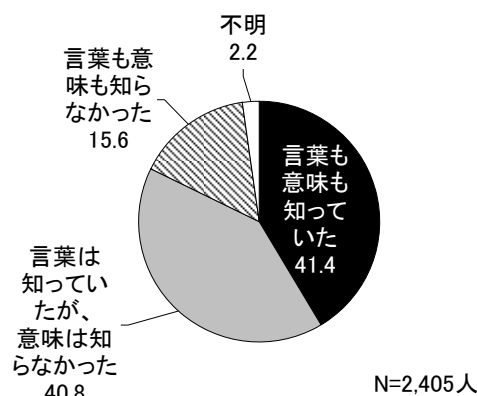
C 食育について

C1. 「食育」という言葉や意味を知っていたか

[設問]

Q 1 あなたは、「食育」という言葉やその意味を知っていましたか。(○は1つ)

[回答結果(全体)]

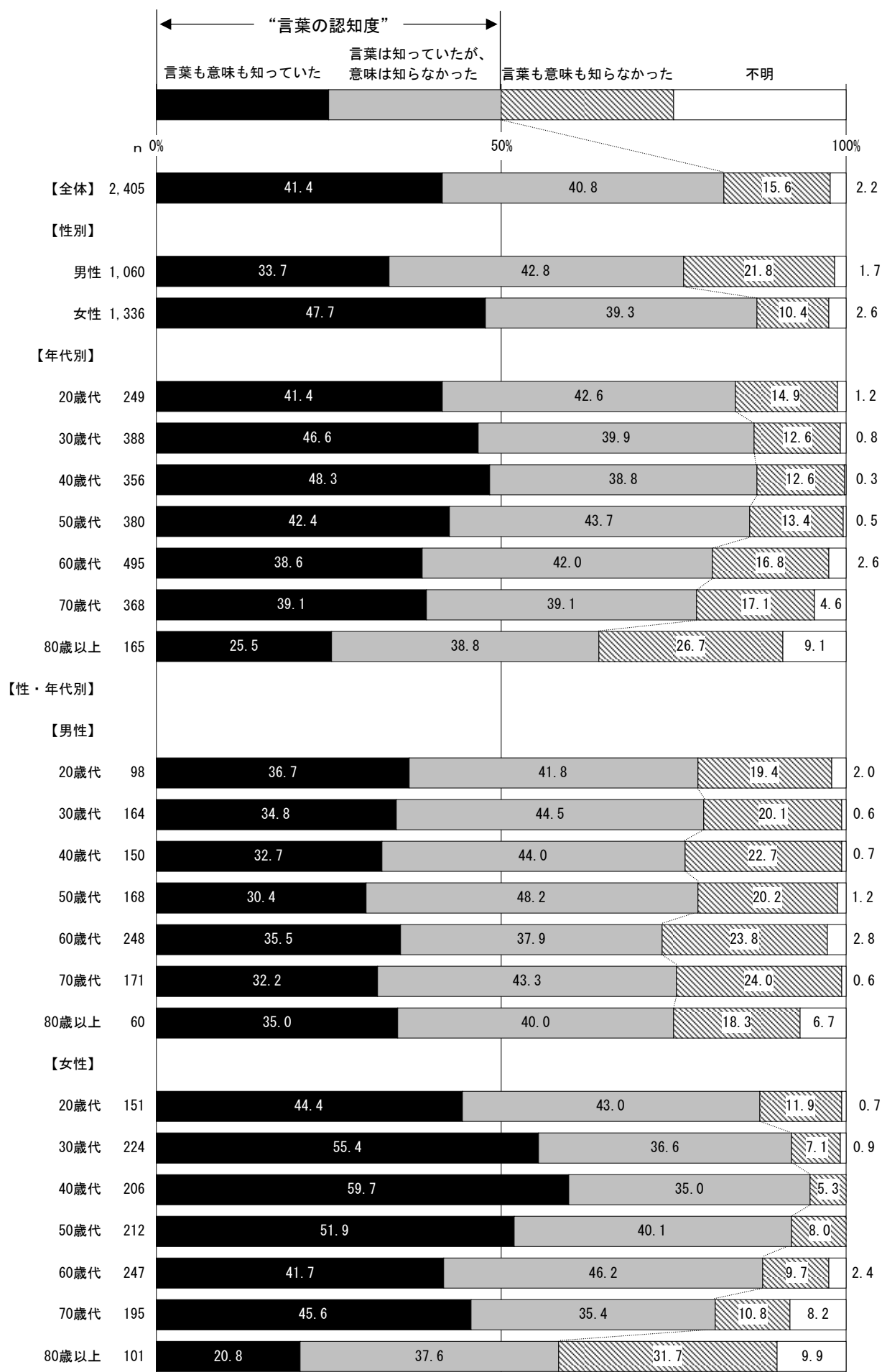


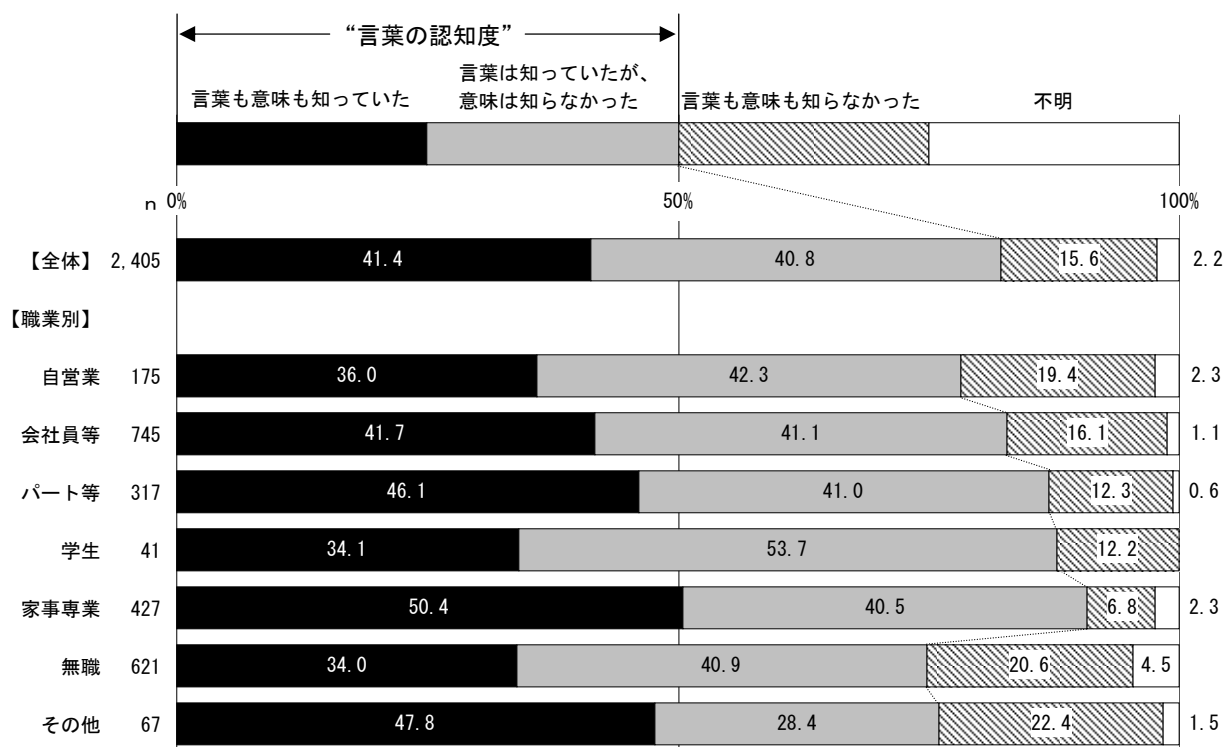
回答	今回調査	
	件数	%
言葉も意味も知っていた	995	41.4
言葉は知っていたが、意味は知らなかった	982	40.8
言葉も意味も知らなかった	374	15.6
不明	54	2.2
回答数	2,405	100.0

[回答結果(詳細)]

「食育」という言葉その意味の認知度を伺ったものである。

- ▶ 「言葉も意味も知っていた」(41.4%)、「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」(40.8%)、「言葉も意味も知らなかった」(15.6%)の順となっている。“言葉の認知度”(「言葉も意味も知っていた」+「言葉は知っていたが、意味は知らなかった」)は8割を超える。
- ▶ 男女別に見ると、「言葉も意味も知っていた」は女性が男性に比べて14ポイント高い。一方、「言葉も意味も知らなかった」においては男性が女性を11.4ポイント上回る割合となっている。
- ▶ 年代別に見ると、「言葉も意味も知っていた」と答えた方の割合は、最も多い40歳代48.3%となっており、逆に80歳以上では25.5%にとどまっている。一方、「言葉も意味も知らなかった」では80歳以上が26.7%と最も多い割合となっている。
- ▶ 性別・年代別に見ると、「言葉も意味も知っていた」と答えた方の割合は80歳以上を除く全ての年代で女性のほうが高く、30～50歳代では20ポイント以上上回っている。一方、80歳以上では男性が女性より14.2ポイント高くなっている。また、「言葉も意味も知らなかった」と答えた方の割合は男性では全ての年代で2割前後である。女性は、80歳以上では31.7%となっているが、他の年代では1割前後にとどまる。
- ▶ 職業別に見ると、「言葉も意味も知っている」は『家事専業』で過半数となっている。『学生』では「言葉も意味も知っていた」は34.1%となっているが、「言葉は知っていたが意味は知らなかった」は53.7%と半数を超え、他の職業と比べ10ポイント以上高い割合となっている。



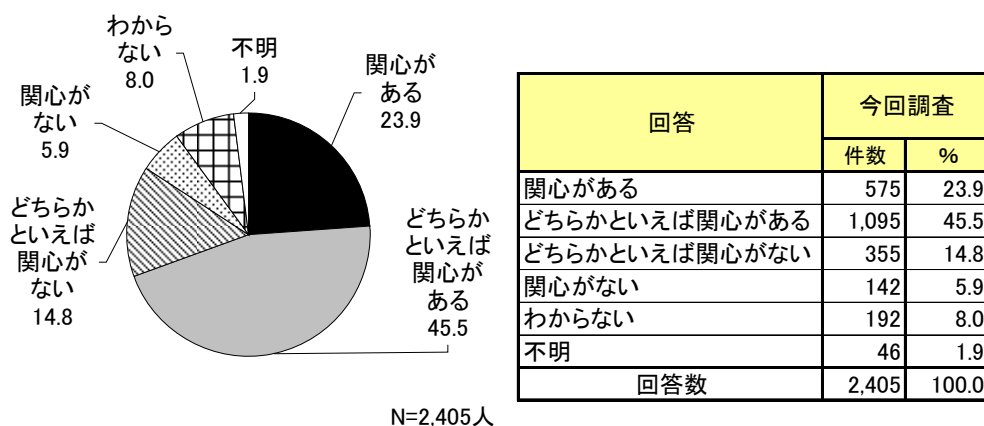


C2. 「食育」に関心があるか

[設問]

Q 2 あなたは、「食育」に関心がありますか。(○は1つ)

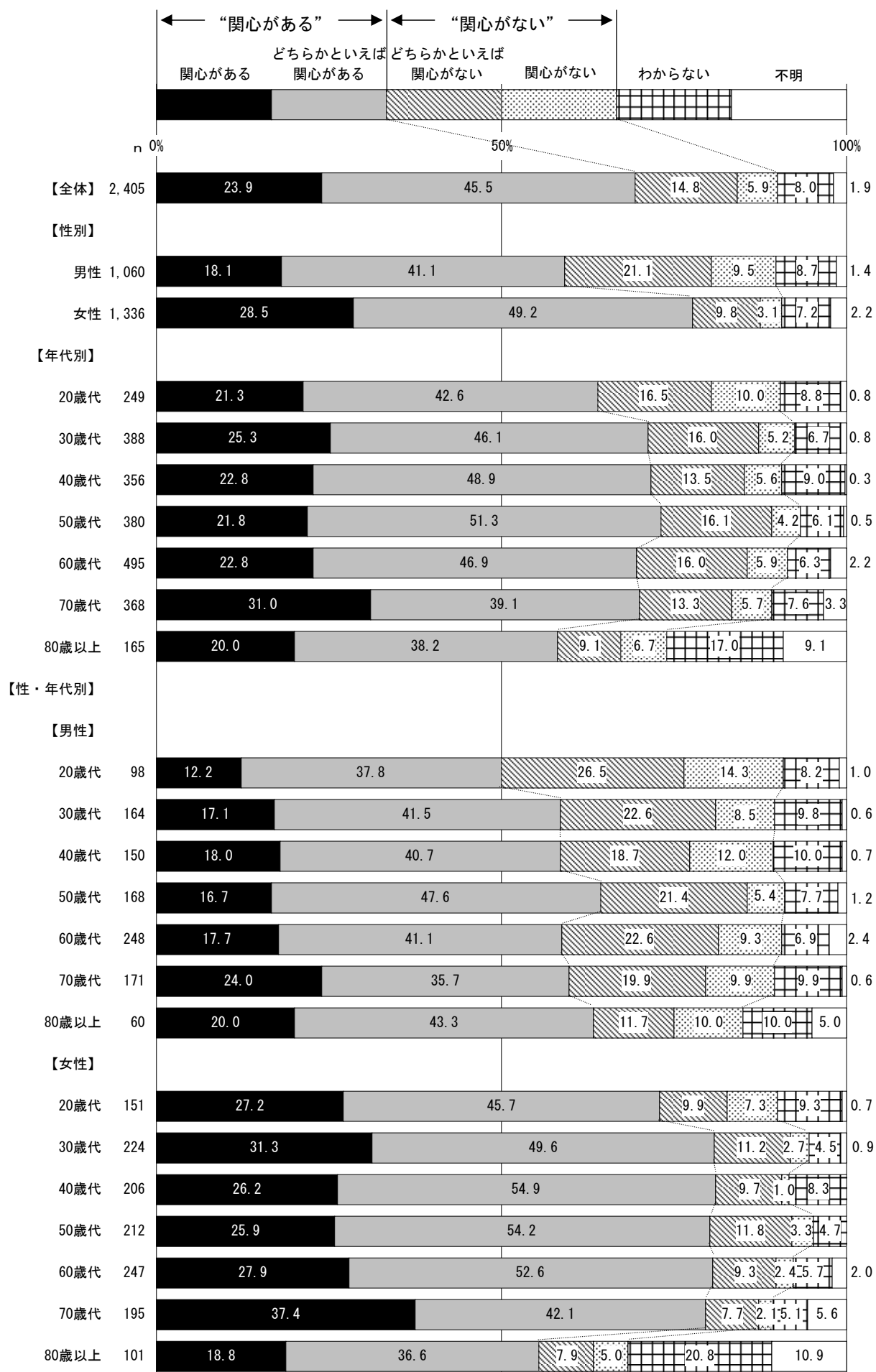
[回答結果(全体)]

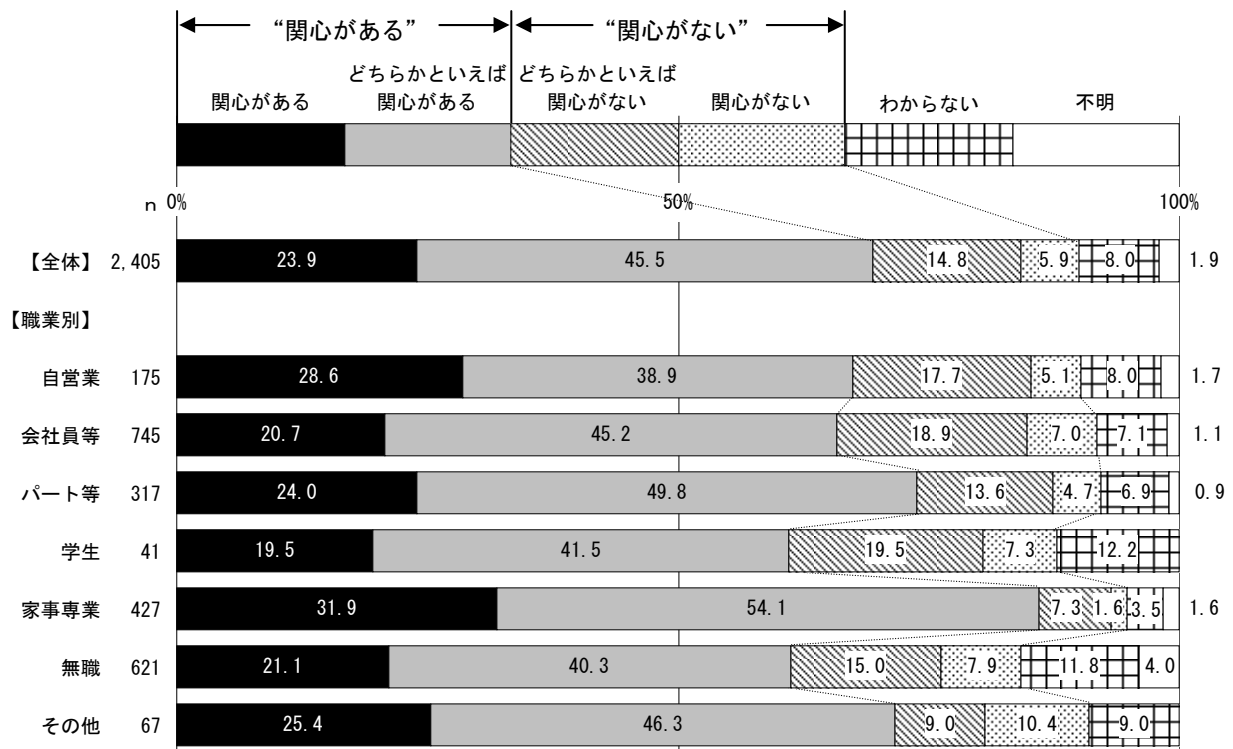


[回答結果(詳細)]

「食育」に関心があるかを伺ったものである。

- ▶ “関心がある”（「関心がある」＋「どちらかといえば関心がある」）の割合は約7割と、“関心がない”（「どちらかといえば関心がない」＋「関心がない」）の20.7%を大きく上回っている。
- ▶ 男女別に見ると、“関心がある”は女性が男性よりも18.5ポイント高い。一方、“関心がない”では男性が女性よりも17.7ポイント高くなっている。
- ▶ 年代別に見ると、“関心がある”は30～70歳代で7割前後となっている。一方、“関心がない”は20歳代で26.5%と最も高い割合を占めている。
- ▶ 性別・年代別に見ると、80歳以上を除くすべての年代で“関心がある”は女性が男性と比べて高く7～8割前後を占めており、男性の20歳代、女性の80歳以上では5割台にとどまっている。
- ▶ 職業別に見ると、“関心がある”は『家事専業』で最も多く、86.0%となっている。一方、“関心がない”とする方の割合は『学生』で最も多い、26.8%となっている。



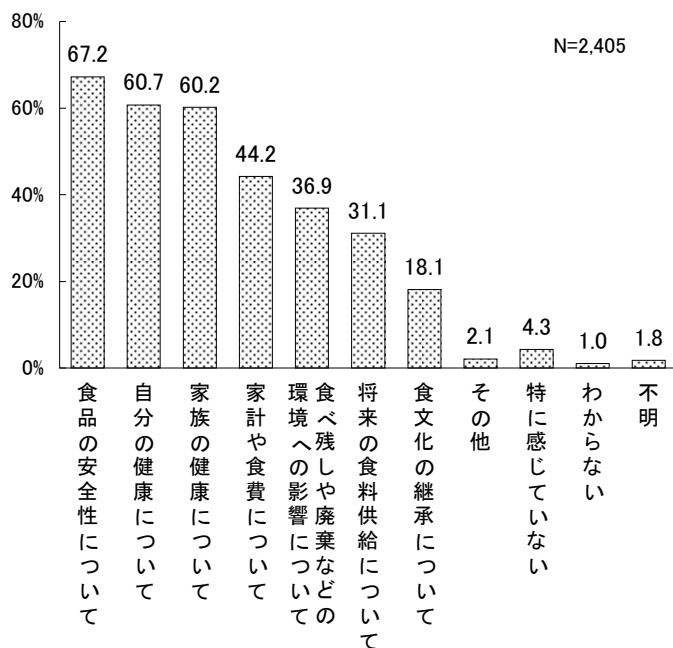


C3. 日ごろの食生活での不安や悩みを感じているか

[設問]

Q 3 あなたは、日ごろの食生活で、どんなことに悩みや不安を感じていますか。あてはまるものすべてを選んでください。(○はいくつでも。(「9 特に感じていない」、「10 わからない」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



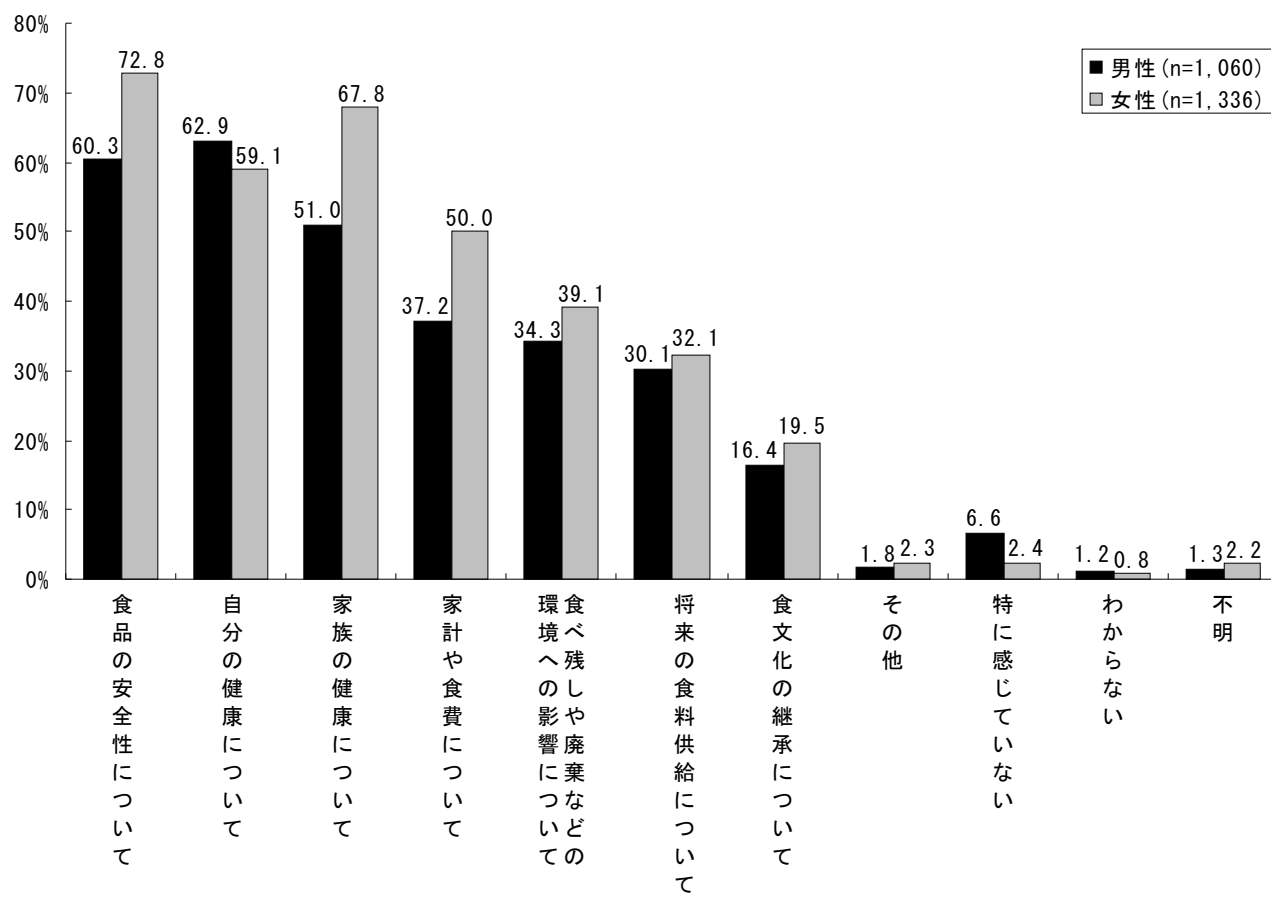
回答	今回調査	
	件数	%
食品の安全性について	1,616	67.2
自分の健康について	1,459	60.7
家族の健康について	1,449	60.2
家計や食費について	1,062	44.2
食べ残しや廃棄などの環境への影響について	888	36.9
将来の食料供給について	748	31.1
食文化の継承について	435	18.1
その他	50	2.1
特に感じていない	104	4.3
わからない	25	1.0
不明	44	1.8
回答数	2,405	100.0

[回答結果(詳細)]

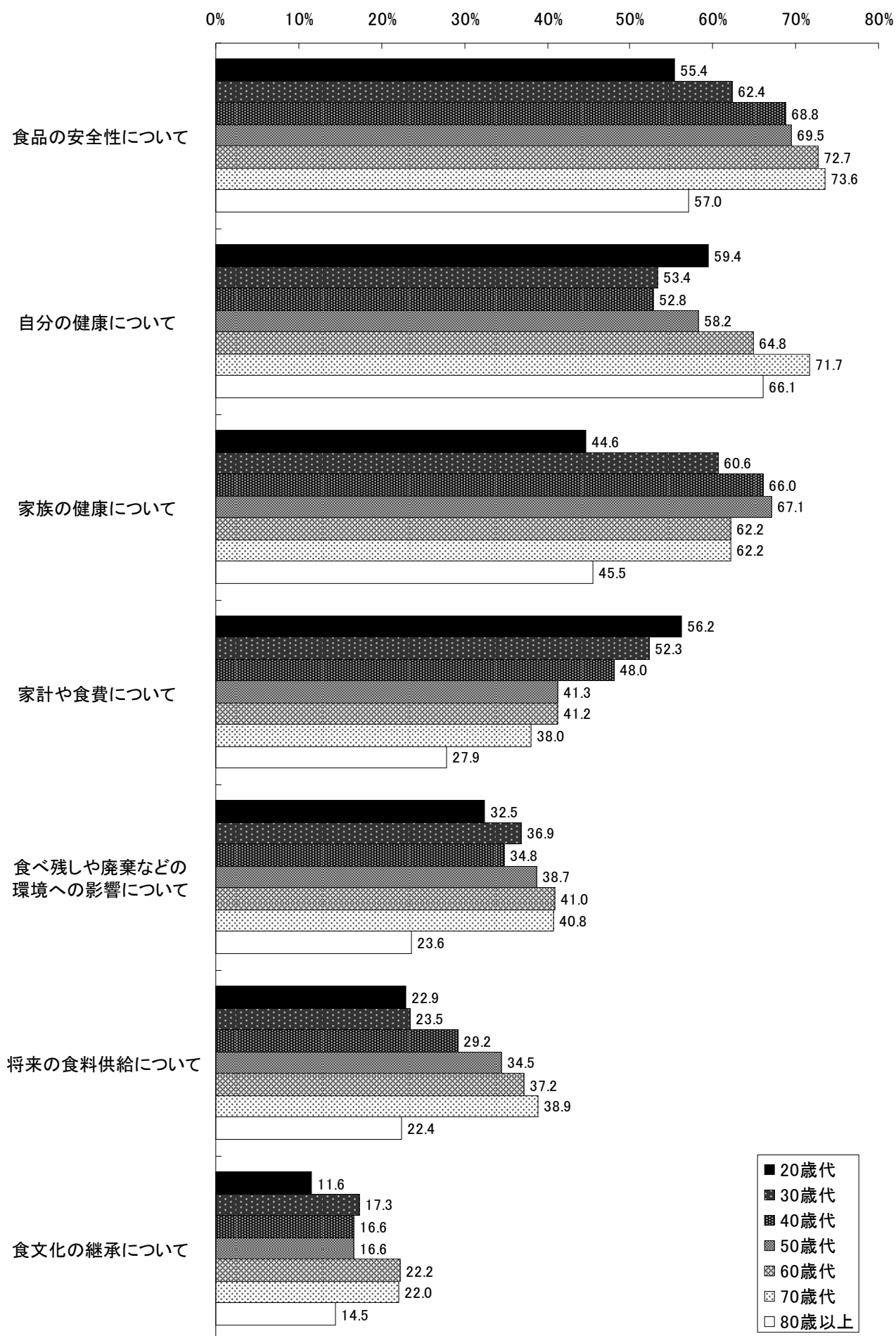
日ごろの食生活で、どんなことに悩みや不安を感じているか伺ったものである。

- ▶ 最も多かったのが「食品の安全性について」(67.2%)、以下、「自分の健康について」(60.7%)、「家族の健康について」(60.2%)と続いている。
- ▶ 男女別に見ると、「自分の健康について」を除くすべての項目で、女性が男性と比べて高い割合となっており、中でも「家族の健康について」では16.8ポイント、「家計や食費について」では12.8ポイント、「食品の安全性について」では12.5ポイント上回っている。
- ▶ 年代別に見ると、「自分の健康について」は60歳代以上で高く、特に70歳代では71.7%となっている。「家族の健康について」では、30～70歳代で6割以上を占めている。「家計や食費について」では年代が若くなるにつれて高くなり、逆に「食品の安全性について」、「食べ残しや廃棄などの環境への影響について」、「将来の食料供給について」、「食文化の継承について」の4項目については80歳以上を除き、年代が上がるにつれて高い割合となる傾向を示している。

【性別】



【年代別】

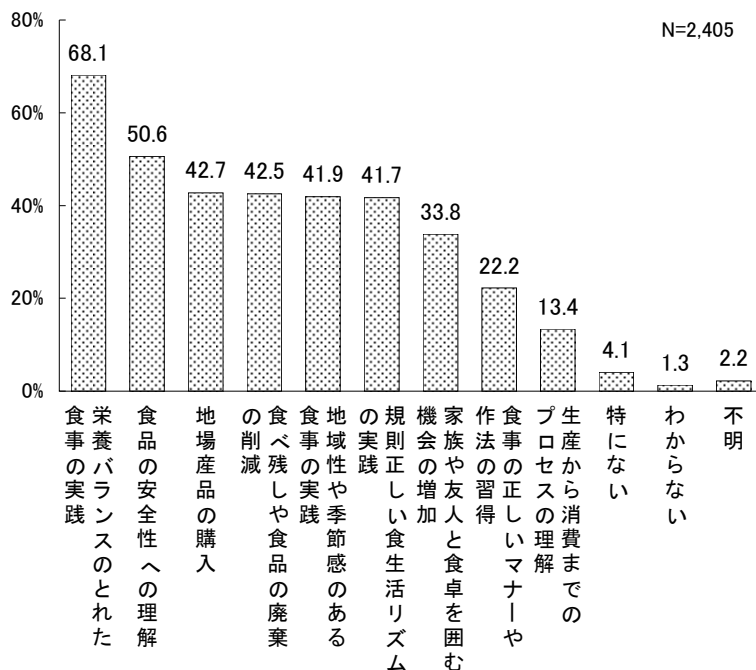


C4. 今後の食生活で力を入れたいと思うこと

[設問]

Q 4 あなたは、今後の食生活で、特にどのようなことに力を入れたいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。(○はいくつでも)。(「10 特にない」、「11 わからない」と回答する場合を除く))

[回答結果(全体)]



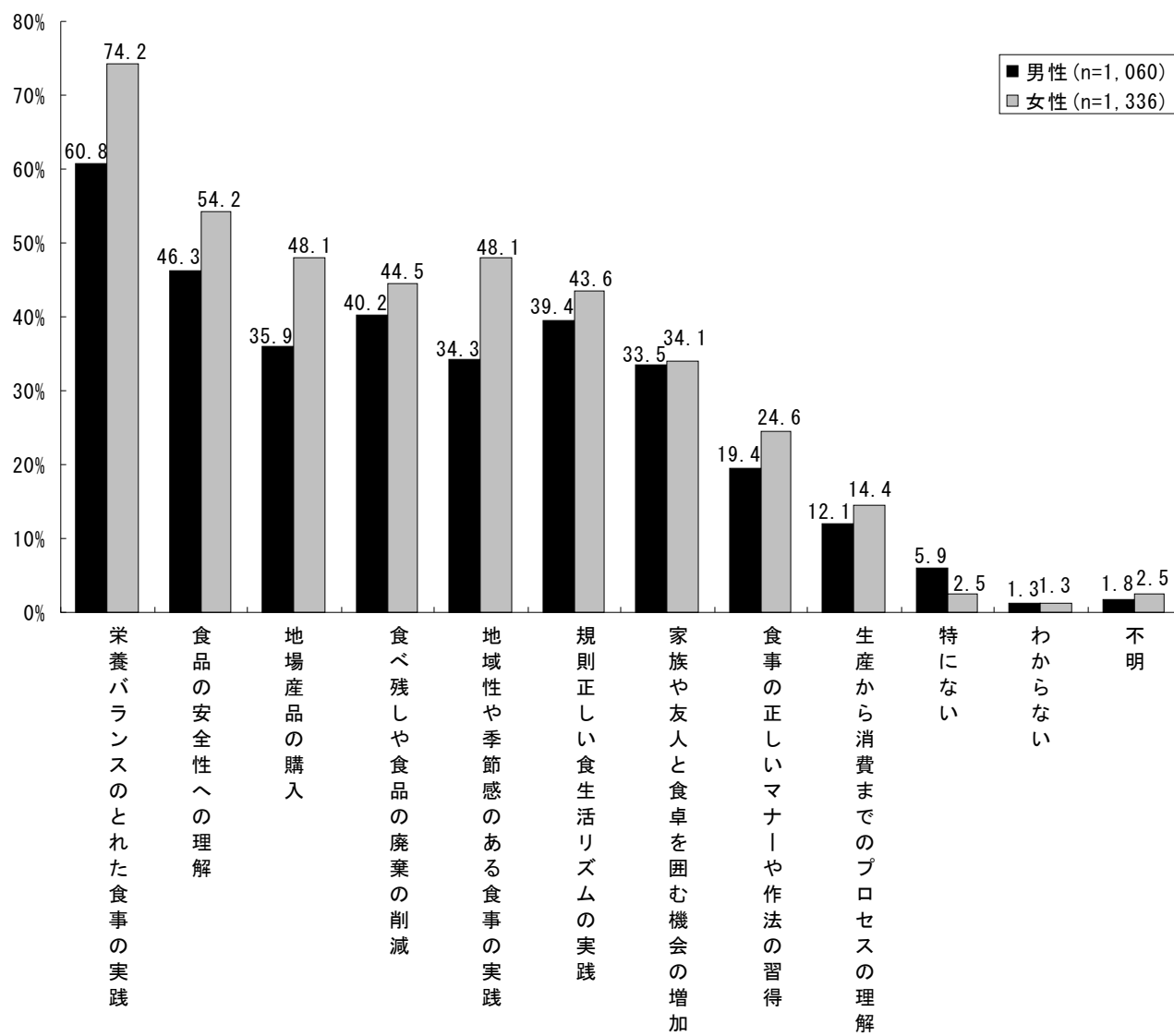
回答	今回調査	
	件数	%
栄養バランスのとれた食事の実践	1,638	68.1
食品の安全性への理解	1,218	50.6
地場産品の購入	1,027	42.7
食べ残しや食品の廃棄の削減	1,022	42.5
地域性や季節感のある食事の実践	1,008	41.9
規則正しい食生活リズムの実践	1,002	41.7
家族や友人と食卓を囲む機会の増加	814	33.8
食事の正しいマナーや作法の習得	535	22.2
生産から消費までのプロセスの理解	322	13.4
特にない	98	4.1
わからない	31	1.3
不明	53	2.2
回答数	2,405	100.0

[回答結果(詳細)]

今後の食生活で力を入れたいと思うことを伺ったものである。

- ▶ 最も多いのが「栄養バランスのとれた食事の実践」(68.1%)、次いで「食品の安全性への理解」(50.6%)である。
- ▶ 男女別に見ると、すべての項目において女性が男性と比べて高く、特に「地域性や季節感のある食事の実践」では 13.8 ポイント、「栄養バランスのとれた食事の実践」では 13.4 ポイント、「地場産品の購入」では 12.2 ポイント上回っている。
- ▶ 年代別に見ると、「食品の安全性への理解」、「地場産品の購入」、「食べ残しや食品の廃棄の削減」、「生産から消費までのプロセスの理解」について 80 歳以上を除く年代で、年代が上がるにつれて高い割合となる傾向を示している。

【性別】



【年代別】

